2026（令和 8）年度 第 2 回 高井戸小学校運営協議会 議事録

日時・場所：　2026（令和 8）年 5 月 9 日（土）11:00～12:30・高井戸小学校校長室
参加者：　（事務局）廣野、山田
（委員）秋山、蘆塚、笠原、下河、内藤、中島、蕨南、和田
（区教委事務局 地域の学び推進課）2 名
敬称略・所属・五十音順、CS 委員および事務局のみ姓を記載
欠席：　鬼澤
議事録担当：　和田
配布資料：
- 次第
- 令和 8 年度の学校運営協議会の運営について
- 作品に関する覚書（案 V3）
- 創立 150 周年記念事業 収支報告書（案）
- 屋上看板の表記について
- 2026(R8)年 4 月～5 月上旬：高井戸小学校支援本部より
- 令和 8 年度 活動計画書（土曜日学校）
- 令和 8 年度 活動計画書（放課後子ども教室）

以下、[] は発言者を表す。

1. 会長挨拶［代理：蘆塚］

「5 月号 たかいど」を拝見した。5 月の連休明けに様々な行事が入る中で、子どもたち、特に 1 年生がやっと馴染んだ頃に大型連休を迎え、再び学校生活が始まることへのプレッシャーを心配している。先生方も大変と思いますが、子どもたちのために頑張ってほしい。

2. 地域の学び推進課より挨拶

地域の学び推進課 地域・学校協働係は、CS、支援本部など地域学校協働活動の情報収集および他校への橋渡しを行う組織。「各校の CS を直接見たい、委員と直接話したい」という教育長の思いを共有して、各校の運営協議会を回っている。各校の取り組み事例を集め、それを発信していきたいと考えている。

3. 学校長より［笠原］

着任から 1 ヶ月、校長室を開け放しておくと子どもたちが交流に来てくれる。学校の様子が分かるようホームページの更新を進めている。令和 8 年度はおおむね順調にスタートした。今のところ、連休明けの子どもたちの様子に大きな問題は見られていないが、引き続き、子どもたちや新任の先生方の様子を見守り、必要があれば適切なケアを提供できるようにしていく。

4. 協議・伝達事項

A. 第 6 学年 卒業対策委員（保護者）の選出について

- 4 月の保護者会では、卒業アルバム、卒業記念品、卒業文集等を作る「卒業対策委員（以下、卒対）」の立ち上げに関する発声がなく、誰もが「誰かがやるだろう」と思っていた結果、引き受け手がない状態となっている。来週の移動教室の説明会で時間をいただき、立ち上げの呼びかけを行うこととしたが、個人に依存する方法には限界がある。なんらかの対応が必要なのではないか。［下河］
- 卒業文集用の作文指導は、教育課程内の学びとしてなされていると思う。文集やアルバムについて、学校として作るものなのか、保護者の任意で作るものなのかをはっきりさせる時期に来ているかもしれない。［和田］

- 学校側が決定権を持った場合、今後のカリキュラムや学年の都合によっては 100 年以上続いてきた卒業文集制作をやめる判断に至る可能性もゼロとはいえなくなる。それが妥当なのかどうか。[笠原]
- 何よりも、子どもたちがどうしたいかが一番大事なのでは。まず子どもたちの気持ちを聞き、その後に保護者や地域がバックアップするという順番で考えるとよいのではないか。[蘆塚]
- アルバムや文集は、購入希望家庭から卒対が費用を収集して制作している。例年、ごくわずかだが購入を希望しない家庭もある。親子の温度差で、子どもがやる気でも保護者が買わない可能性はゼロではない。アルバムを手に入れられない児童にも配慮したい。[山田・廣野]

→ 例えば、成果物としてのアルバムはデジタル版にして、児童全員が参照できるようにし、希望家庭のみ印刷版をオプション購入とする方法もある。欲しくても手に入らない児童には、支援本部が上質紙にカラープリンターで印刷して渡すなどといった地域協力の工夫もあるかもしれない。[和田]

→ できる範囲でやるという考え方も大事。お金をかけない方法をみんなで考えるのも学びではないか [蘆塚]

> ➢ 笠原校長預かりとする。6 年生に持ち帰り、子どもたちの意向を踏まえて検討する。

B. 学校より

① 駅から見える周年看板について

- 文字パネルのネジ穴付近に劣化があることが判明した。設置から 10 年が経過し、耐用年数的な心配もあったので点検をした。現在の取り付け方法では、パネル交換作業時のリスクも高い。フェンスと文字パネルを一体化させ、パネル交換時にはフェンスごと外して屋上平面で安全に作業できる方法に変更する案で進める。台風対策として、取り付けボルトの増設やワッシャー等の交換も行う予定。現在保有している文字パネルの組み合わせで 160 周年まで対応可能ではある。現在、「祝」の文字パネルは外している。[笠原]

② 教職員（来賓）玄関への看板設置について

- 来校客が昇降口まで行ってしまうことが多いため、教職員・来賓玄関に看板を設置したい。[笠原]
- 横長 3 分割タイプの場合の見積もりを取得済み。送料込みの看板プレート代は 52,360 円。別途取り付け工事費用が必要。[和田]
- 学校備品となるものについては、周年実行委員会から学校(区)に寄贈した後は、区が所有者責任を持つことを明確にしておきたい。[蘆塚]

> ➢ 前回 CS で合意の通り、150 周年記念事業予算で看板を寄贈する。どのように所有者責任を明確化するかについては、笠原校長を中心に検討する。

③ ホームページのリニューアルについて

- 杉並区立のすべての小中学校でホームページシステムを統一する動きがあり、5 月から作業開始予定。これまで各校が自由にシステムを選んで作成していたものを、誰もが使える簡易的なシステムに変更する。[笠原]

④ 放課後居場所事業について

- 2027 年（R9）4 月の開始に向けて、設置場所を検討した結果、西棟 2 階の多目的室を使用することとした。子どもたちは、下校後一旦玄関を出て、西校舎の専用出入口から 2 階に上がる動線を想定。これにより、管理責任の区分けや職員室前騒音等の課題はクリアできる見込み。[笠原]
- 西棟と中央校舎の 2 階接続部分は施錠するのか？ 夕方になって教室に忘れ物を取りに来る子どもの動線が気になる。[下河]

→ 施錠が必要かどうかは、今後議論が必要な部分だと考える。[笠原]

→ 学童の場合、忘れ物は学童職員と一緒に対応している。放課後居場所も同様の対応を予定しており、子どもだけで教室に行くことがない運用になると思う。[山田]

- 校内学童と放課後居場所の違いは何か。[下河]

→ 学童は利用可能条件、登録と利用料の支払い、定期利用（出欠確認）がある。放課後居場所は利用条件なし、登録のみ、児童の都合で来て帰る。校内に児童館があるようなイメージ。[山田]

- 学童クラブと放課後居場所それぞれが別組織に管理されることによって、子ども同士のコミュニケーションの取り方、責任の所在、いじめなどのトラブルの原因にならないような施策を明確にしてほしい。また、児童青少年課管轄の事業が教育委員会管轄の学校施設に入ることで、「文化やルールの二重化」があるとすれば、それが一番気になる。学校、学童クラブ、放課後居場それぞれの管理者間、保護者間、所属する子ども同士のコミュニケーションをどう取るか。前提や文化・ルールの違いをどう扱っていくかが、引き続き気になっている。[内藤]

C. 150 周年記念事業実行委員会事務局より

① 150 周年協働制作絵画の覚書について

- 5 年生児童（当時）とアーティストの協働制作絵画の一部を寄贈いただく件の覚書について、CS の独自判断と解釈されないよう、高井戸小校舎内の常設展示場所は、学校長が認めて定めるものと追記した（第 6 条第 3 項）。これにより区教育委員会の関与を担保する。[和田]

→ 学校長の関与を明記するのであれば、三者協定にして学校長の署名を追加すべきではないか。[蘆塚]

→ 異議なし。150 周年当時の校長は伊勢先生であるが、署名日時点の校長名でサインする。[笠原]

> ➢ 学校長のサイン欄を追加し、三者協定の形にする方向で修正のうえ進める。

② 150 周年記念事業の収支について

- 記念贈答品のうち、校庭音響システムとアート額装の支払いを完了した。現時点の収支残高は 67 万円余り。ここから教職員玄関の看板費用、6 万円弱(取り付け工事を除く)が消費される見込み。[和田]

③ 屋上看板表記に関する事務局案

- B-①で笠原校長から報告された看板文字表記について。事務局案として、以下を提案したい。
  案：5 の倍数の年は「祝」を掲げる。それ以外の年は、「祝」の文字の代わりに子どもたちが考えたキャラクター等のあしらいで祝う気持ちを表現する。
  具体的な文言は笠原校長と相談のうえ、改めて報告する。[和田]

④ 同窓会ページ経由のコンタクトについて

- 150 周年ホームページの「カミング高井戸小」リンクから、学校訪問または芳名録掲載者とのコンタクト希望と思われるリクエストが 1 件あった。廣野先生にご対応いただいている。[和田]

D. 支援本部＆学校・地域コーディネーターより

① 4 月から 5 月上旬までの活動報告と情報共有。詳細は別紙『2026(R8)年 4 月～5 月上旬：高井戸小学校支援本部より』を参照のこと。以下、別紙記載外事項のみ記す。

- 5 月 25 日と 5 月 26 日の雨天予備日サポーターが未充足。心当たりの方がいれば、ご連絡を。[和田]

- 5 月 13 日より、廣野副校長のお手配で放課後算数教室が開始される。今年度は第 3 学年 11 回、第 4 学年 9 回の実施を予定している。[和田]

5. その他

① 区教育委員会によるコミュニティ・スクール紹介動画の利用について

- 高井戸小学校支援本部作成の動画『わたしたちがつくる高井戸小学校』を、教育委員会の YouTube システム等を通じ、区内他校 CS・支援本部・PTA にも事例として紹介・活用することについて。CS の皆さまの許可をいただきたい。[地域・学校協働係]
- 高井戸小学校内においても、コミュニティ・スクールのコンセプトや学校運営協議会の立場が、保護者や子どもにあまり理解されていない現状を感じている。動画を通じて、学校に任せきりにせず、保護者全員が公教育の当事者であることを伝えられるとよい。Tetoru 配信資料はほとんど見られないのではないか。今後の保護者会等で、全員で動画を視聴する形が望ましいと考える。[下河]

- 学校運営協議会として、動画を区教委が利用するこが承認された。
- 学校ホームページでも紹介する。
- 今後の保護者会で参加者全員がその場で一斉視聴できる方向で進める。

② 次回開催予定

- 第 3 回学校運営協議会：2026 年 6 月 27 日（土） 11:30～12:30
  1・2 校時は。道徳授業公開、3 校時は副島賢和先生後援会。

- 今年度 CS 会議は「1 時間」で計画されていたが、本日の延長状況等に鑑み、第 4 回より「1 時間半」に拡大することが決まった。話題が早く終われば早く閉会する運用とする。
- ただし、第 3 回については、副島先生の後援会参加時間を確保するため、1 時間とする。

以上